

私たちが
企画しました！

▶フォーラム実行委員
のみなさん



①夢を植え 感動を育てる
～女性が活躍できる社会へ～

日11月7日(日) 場アオーレ長岡 講(株)カーブドッチ代表取締役・掛川千恵子さん 定80人(先着) 保育=5人(先着)



▶42歳で新潟県に移住し、翌年カーブドッチファイナリーを創業した掛川さん

②ココロとカラダのセルフメンテナンス

日11月5日(金) 場リリックホール 講心と体のコーディネーター・水科江利子さん 定20人(先着)

③映画「カラコエの花」上映会と
講演会「性の多様性について、一緒に考えてみませんか」

日11月6日(土) 場アオーレ長岡 講こころてにいがた代表・井浦綾香さん 定100人(先着)

①～③いずれも 時午後1時30分～3時30分
日10月29日(金)までにウィルながおかへ (HP可)

●登録団体イベント

イベント名	開催日	講師	定員 (先着)	問い合わせ・申し込み
①映画「プリズン・サークル」上映会と座談会	10/30 (土)		100人	長岡アジア映画祭実行委員会！・菅野さん ☎090・4520・4222
②ジェンダー平等の実現をめざして～女性の権利を国際基準に～		早稲田大学名誉教授・浅倉むつ子さん	33人	男女がともに生きる社会を進めるF&Mながおか市民会議・鈴木さん ☎080・1108・4189
③たどり着く子ども達～自立援助ホームの働き～		自立援助ホーム「たいむ」前ホーム長・町屋瑠美子さん	25人	矯風会長岡・田中さん ☎37・4282
④災害時に備えて、防災食を作ってみましょう(要予約)	10/31 (日)	中越市民防災安全士会女性部「シュークリーム」	25人	長岡市消費者協会事務局(消費生活センター内) ☎32・0082
⑤高齢者問題講演会 コロナウイルス禍を超えて健康な毎日を過ごすために		オフィス・エヌ代表・南雲陽子さん	34人	長岡老いを考える会・長井さん ☎35・9048
⑥長岡の医療と介護を考える(要予約)	11/3 (祝)	長岡の医療と介護を考える会会長・竹島良子さん	60人	新日本婦人の会長岡支部 ☎34・7635
⑦女性のミカタ!!「ながおか・スマレプロジェクト」		市民協働ネットワーク副代表・渡辺美子さんほか	34人	新潟県中越地震「わたしの震災復興」を推進する会・樋熊さん ☎090・4024・1578
⑧かるやかに越えよう世代間ギャップ～I Tを味方に～	11/6 (土)	(株)雷神代表取締役・細木真歩さんほか	25人	ウィメンズスタディズ・ネットワーク・鈴木さん ☎ FAX33・8227
⑨子ども時代の性暴力、その後を生きるということ(要予約)	11/7 (日)	認定フェミニストカウンセラー・杉本志津佳さん	40人	NPO法人女のスペース・ながおか ☎38・0457

時①午前10時～午後1時②⑦⑧⑨午後1時30分～3時30分③午後2時～3時30分④⑥午前10時～正午⑤午後1時30分～3時 場①アオーレ長岡②～⑨まちなかキャンパス長岡 料①1,000円(当日200円増)、障害者手帳・療育手帳を持つ人、高校生以下500円(学生証を持参)④200円

ウィルながおか フォーラム

女性が抱える課題を共に考えようと、昭和62年に「ながおか女性のつどい」の名称でスタート。その後、子育てや働き方などテーマを広げ、今年で35回目を迎えます。



10月29日(金)～11月15日(月)

女性への暴力をなくそう

アオーレ長岡

パープルリボン・ラッピング

11月12日～25日は「女性への暴力をなくす運動」期間です。これに合わせ、暴力根絶のシンボルである紫色のリボンでアオーレ長岡を飾ります。

★作ってみよう！パープルリボン

ながおか・スマレプロジェクト32ページとのコラボ企画。パープルリボンを手作りしながら気軽に話しませんか。

日11月7日(日)午後1時～4時

「自分にできること、何だろう」 市民と共に進むウィル

「意志」を意味するウィル(WILL)。ウィルのイベントや情報誌は、市民ボランティアスタッフ「ウィルながおかパートナー」が企画・運営をしています。自分たちで考え、行動に移しているみなさんの声を聴きました。



フォーラム実行委員
白井 一美さん

誰もが活躍できる 環境を考える

女性だけが盛り上がっていると思われがち男女共同参画。しかし、女性活躍は女性だけでは実現しません。女性が働きやすい環境は男性が働きやすい環境でもあるのです。

今年のフォーラムのメインイベントの講師は、県外から移住して起業した掛川千恵子さん。自分を制限せずに挑戦することや、誰もが活躍できる環境づくりを学びましょう。

フォーラムでは、男女共同参画をさまざまな切り口で取り上げます。まずは気軽に参加して、考えるきっかけにしてほしいです。

学習・研修委員

内山 麻理子さん

身近なことだから、 思い切って飛び込んで



男女共同参画は大きなテーマに思えますが、自分たちが日々気になっていることの解消から始まります。

出産など、女性は意識が変わる機会が多いです。一方、男性や男女平等が進む環境で育った若い世代は、意識しづらいかもしれません。



▲オンライン講座の準備をする学習・研修委員のみなさん

ウィルながおかパートナー(右)が考えているのは、実は身近なこと。年代・性別を問わず、少しでも興味を持ったなら、思い切って飛び込んでみてください。

あぜりあ編集委員
厚東 佳樹さん

ウィルって何？ から始まった学び



参加のきっかけは編集への興味から。ウィルが何なのかピンとこない上に、当時(平成21年)は「イクメン」という言葉も聞かない時代。活動の中で男女共同参画を学んでいきました。

企画が形になるのは大きなやりがいです。東京都豊島区や広島県尾道市などでは、研修や展示にあぜりあを活用していただきました。多くの人の目に触れ、何か感じてもらえるのはとてもうれしいことです。

学びを通して未来ある子どもたちのことを考えるようになり、保育士の資格も取得しました。大切なのは、固定概念をなくして「できる人がやる」こと。ぜひ、あぜりあで新たな視点に触れてみてください。

★電子書籍で「あぜりあ」バックナンバーを公開
過去5年間に発行した「あぜりあ」を無料アプリ「カタログポケット」で公開します。

日来年3月31日(木)まで
▶詳しくはこちら



ウィルながおか パートナー あなたも活動しませんか

内フォーラム実行委員、あぜりあ編集委員 活動頻度=月1・2回 定若干名 日12月17日(金)までにウィルながおかにある申込書で(HP可)



特別な資格や経験は必要なし！
子育て世代も活動しています。